TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音　他者の必要を満たす
エフェソの信徒への手紙 4:28-29

2023年10月21日&22日
余沢 武　牧師

I. はじめに

こんにちは。ここまで、イエスを信じることによって私たちは「神の性質」と「神の聖さ」を身にまとった「新しい人」に造られ、「神の満ち溢れるもの」によって満たされることを学びました。

そして私たちは神に似た者へと造られたので、「古い自分」を脱ぎ捨て、「新しい自分」を身につけるのです。私たちの心は今も新しく造り変えられている途上にありますが、「罪深い習慣」を脱ぎ捨て、「神の品性」を身につけ続けるのです。先週は、次のことをしなければならないことを学びました。

偽りを捨て、真実を身につける。
怒りを捨て、赦しを身につける。

今日は、その他に何を脱ぎ捨て、そして身につけるべきかを学びます。まず祈りましょう。

II. 他者の必要を満たす

(1)もう盗んではいけない

エフェソの信徒への手紙 4:28 を開きましょう。「盗みを働く者は、もう盗んではいけません。むしろ、労苦して自らの手で真面目に働き、必要としている人に分け与えることができるようになりなさい。」

パウロによると、神の民は、盗みを止める、もしくは盗みを働かないのです。

ヨハネによる福音書 10:10 で、イエスはこう言います。「盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得るため、しかも豊かに得るためである。」

盗みは盗人、つまりサタンに属する者の仕業ですが、イエスは盗むためではなく、命を与えるために来ました。

私たちの神は与える神であり、ヨハネによる福音書 3:16 にこう書いてある通りです。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

同じように、神の民は盗人であってはならず、犠牲的に与える者でなければなりません。

何かを盗むとは、自分のものではない何かを、自分のものであるかのように「取ったり」、「使ったり」することを言います。

例えば:
・他者のお金やものを取る。脱税する。借りても返さない。
・勤務時間を仕事と関係ないことに費やす、またはいつも早く退社する。
・説明した内容よりも実際には劣る製品を売る。
・著作権のある資料、音楽、楽譜を違法に共有する。
　地主や雇い主に嘘をつき、自分のためにお金を取っておく。

盗みの根幹にあるのは「貪欲」、「怠慢」、「自己中心」です。自ら働くことなく、他者の犠牲の上に何かを欲する人が行うことです。パウロは、そのような性質は脱ぎ捨てなければならないと言っています。パウロは、28 節で「労苦して自らの手で真面目に働く」ようにと言っています。

ここで使われている「働く」という単語は、「疲れるまで働く」、「絶えず労苦し、働く」という意味があります。私たちが神の民となるとき、私たちは「熱心な働き人」になります。

なぜなら創造の時、創世記 1:28 で、神は人間にこう言いました。「神は彼らを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちて、これを従わせよ。』」

ティモシー　ケラー牧師によると、「従わせる」という言葉は、被造物がまだ未発達で、開拓のための可能性を秘めた状態であることを示唆しています。私たちは労働を通してその可能性を開く必要があります。

ですから創世記 2:15 はこう言います、「神である主は、エデンの園に人を連れて来て、そこに住まわせた。そこを耕し、守るためであった。」

これはアダムとエバが罪を犯す前のことです。「働く」ことは神の創造の一部だったのです。働くことは罰ではなく、楽園の一部だったのです。われわれは怠けるように造られたのではありません。

神ご自身も働く神です。ヨハネによる福音書 5:17にはこう書いてあります。「イエスはお答えになった。『私の父は今もなお働いておられる。だから、私も働くのだ。』」ですから、神のご性質に似せてつくられた神の民である私たちは、勤勉な働き人であるべきです。

パウロは「私たちは労苦して自らの手で真面目に働かなければなりません。」と言います。私たちがこの世に置かれているのは、誰かの労苦の上に怠惰に生きるのではなく、自ら働き、労苦し、神が造られた人間、すなわち熱心な働き人として生きたことを認識し、満足するためです。

ですから偉大な説教者であるマルチン ロイドージョーンズ博士は、働くことなく財産を手にした若者は可哀想だと言っています。なぜなら彼らは働く必要がなく、神からの人生の恵みを逃しているからです。

しかしそれだけではなく、私たちの労働、熱心な働きの究極の目的があります。それは、「必要がある人たちに分け与えることができるように」なるためだとパウロは言っています。

私たちが仕事を通して得る収入は、自分たちの必要を満たすだけではなく、他者、特に必要を抱える兄弟姉妹を愛することをも可能にします。私たちが必要を抱える他者に与えるのはそのためです。教会、宣教、ビルディング献金のために献げるのは次の世代への投資のためです。

私たちがこの世と異なるのは、この点においてです。自分たちのためだけに働いている訳ではありません。私たちが働くのは、神の財産の管理者として仕えるためです。この財産は私たちのものではなく、神のものであり、神の民を助けるために私たちに託されたものであると言うべきです。

あるレストランに行ったとします。ウェーターが熱心に働いており、最高の態度で最高のサービスを提供しています。すると彼は 4 人の子供がいる貧しい家族を目にします。この家族は 4 人の子供がシェアするためにたった1皿だけ注文します。しかし、彼らが驚いたことに、なんと 4 皿運ばれてきました。ウェーターは微笑み、「これは私が払います。私はここであなたがたのような人を助けるために働いています。」と言います。

このように見えます。もしウェーターが働かなければお金は手に入りません。しかし彼が働いているからこそ、自分の必要を満たすことだけでなく、神に仕える立場にある者として他者を犠牲的に愛することのために使うことができるのです。これが神のご性質です。パウロは、「神のご性質を身に付けなさい」と言っています。

(2)悪い言葉を一切口にしてはならない

29 節でパウロはこう続けます。「悪い言葉を一切口にしてはなりません。口にするなら、聞く人に恵みが与えられるように、その人を造り上げるために必要な善い言葉を語りなさい。」

私たちの仕事に対する態度だけではなく、言葉に対する態度も変わらなくてはなりません。

この「悪い」という単語は腐った野菜など、「腐った」ものを表すために使われます。この箇所では卑猥な言葉、暴力的な言葉、噂話、悪口などキリストの体を造り上げるのに反する言葉のことを表しています。

パウロは、「その人を造り上げるために必要な善い言葉」を語りなさいと言っています。言い換えると、私たちが話すとき、その人を神との歩みの内に「造り上げる」という望みをもって全ての言葉を口にする必要があります。

けれども聞く人を「造り上げる」だけではなく、「その人を造り上げる」言葉を語る必要があります。もしくは NIV(新国際訳)では「その人を造り上げるのに役立つ言葉を、必要に応じて語りなさい。」と言われます。

これは、いつも同じことを言うだけではいけないということです。私たちは毎回、同じ証や福音の説明だけをして、相手に受け入れるか否かの選択を求めるのではなく、その人が今どのような状態にあるとしても、その人を助け、その必要に応じてその人を造り上げることを目標とするべきです。

つまり、時間をかけて相手の話を聞き、状況を把握し、神がその人に望むような生き方の妨げとなっているのは何かを考える必要があります。そしてその人が神をより信頼し、次の信仰の一歩を踏み出すことができるよう、大きな忍耐と共に、愛を持って励ますべきです。

何年か前、あるゲストがボーイフレンドと一緒に TBC に来ました。その日、私は愛についてメッセージをしました。そのゲストの方はメッセージをとても気に入り、礼拝後、大いに同意しますと私に言いました。そして彼女は私にノンクリスチャンのボーイフレンドを紹介し、彼らは同棲していると言いました。

それを聞いた瞬間、私は「彼女が自分をクリスチャンであると言うならば、正さなければならない。彼とそのような関係でいてはいけない」と思いました。そして実際にそうしました。すると、たちまち和やかだった雰囲気は一変し、張り詰めた空気が流れました。彼女は立ち去り、二度と戻ってくることはありませんでした。私はその時、自分が言ってしまったことを心から後悔しています。

私が彼女に伝えたことは、聖書的には正しいことでした。けれどもそれは彼女の必要に沿ったものではなかったのです。もし私の目標が、彼女の必要に応じて彼女を造り上げることであったならば、私は失敗しました。もっと時間をかけて彼女の話を聞き、状況を把握し、神が彼女に望むような生き方の妨げとなっているのは何かを考えるべきでした。

彼女がクリスチャンであったかどうかは分かりません。聖書を知っていたかどうかも分かりません。それ以外のことだったのかもしれません。しかし、私は時間をかけて彼女と彼女の状況を知り、どのように彼女を励ますべきかを祈りをもって判断するべきでした。彼女の必要に応じて励ますことで、彼女が神を信頼し、信仰の次の一歩を歩むことができるようにすべきでした。
なぜでしょうか。パウロは、「聞く人に恵みが与えられるように」と言っています。

前の箇所で、パウロは、私たちはそれぞれ恵みを与えられ、それを使うことによって共に「キリストの満ち溢れる」姿へと成長していくと言いました。私たちの目標は、私たちの言葉を通して、他者もまた、キリストの恵みを受け、そして実践し、「キリストの満ち溢れる」姿へと変えられていくことです。

(3)結論

神の似姿に造られることにより、私たちの人生に対する視点は完全に変えらます。自分たちのために生きるのではなく、他者のために生きるようになります。
真実のみを隣人に語ります。他者を赦します。
他者のために熱心に働きます。他者を造り上げるために言葉を語ります。

全ては、他者のためです。なぜでしょうか。神がそのようなお方だからです。そしてそれは神の子キリストにもみられることです。キリストのこの世での働きの中で次のようなことを見ます。

キリストは他者に真実しか語りませんでした。他者を赦しました。
キリストは他者のために熱心に働きました。他者を造り上げる言葉だけを語りました。

そして十字架の上で、キリストは持っていた人生全てを他者のために差し出しました。キリストを信じることによって、私たちは今神の似姿に造られた神の民です。私たちの人生もまた、他者のためなのです。

パウロは、私たちが神の民として、他者を愛するために働き、他者を愛するために語るべきだと言います。私たちに出来るでしょうか？いいえ、できません。それは私たちの性質ではなく、神の性質だからです。けれども神は私たちに聖霊を与えてくださったので、その助けによって可能になります。ぜひそうしましょう。

あなたはクリスチャンではないかもしれません。けれども、あなたも自分のために生きることをやめ、他者を愛するために生き始めることができます。そのためには、①自分の「自己中心」の罪を告白し、②イエスを信じる。③イエスの赦しを受け入れる。④自分を変えてくださるようキリストに求める。ぜひ今日、そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg4323jp

★クラス 101
TBC の教会員になるためのクラス
11月12日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

★クラス 201
クリスチャンとして成長するには
11月 26 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 101 を修了した TBC 教会員

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター
   月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
   スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成
   月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
   Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
   スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳
   1 か月半に 1 度くらいのペース
   自宅での作業になります。
   英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
   スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org